

誤嚥性窒息死のない世の中へ！命の危険が潜む夜間労働者(個人・団体)に愛と光を!! ～安全・安心・健康塾～

連載 **113** 在宅医療奮闘記 平成7年より在宅を開始した 私の思い出 **橋本 満義** (66歳・内科) (医)東西会 千舟町クリニック院長

緊急提言!! 今なぜ“漢方薬”が必要なのか? 西洋医学万能と思われる時代に—

人類のおこりなのか、この地球環境の激変とともに、あらゆる病が牙をむいて私たちに迫っています。つまり、生命の危機は、待たなしの状態なのです。私たちはあらゆる英知を結集し、すみやかに行動すべき時なのです。

Q 先生、教えてください。私の父に最近、胃腸障害があります。近くの病院で胃カメラ検査などしたのですが、胃潰瘍や胃がんなどは除外されました。漢方薬を服用したいのですが…。

A 最近、難治性の病状で、西洋薬と漢方薬の併用や漢方薬単独服用を希望されますが、いずれも可能です。漢方医学は個人の体質(証)や病状(外因、内因、不内外因)により、黄連湯、半夏瀉心湯、六君子湯、安中散など、適切な処方を行います。

Q つまり、漢方薬の処方内容を決める場合、本格的な教育を長年受けた東洋医学(漢方医学)の専門医でないと、本当の効果が期待できないわけですね。

A そうなんです。私の場合は、昭和51年ごろから昭和62年ごろまでの10年間、“東西医学”[東洋医学(漢方医学)と西洋医学の融合]の世界的権威者 有地滋先生*に師事しました。

*有地 滋 大阪大学医学部内科 助教授から近畿大学医学部東洋医学研究所 教授となり、東西医学分野での研究・臨床実績は広く認められています。

Q 橋本先生の診療所では、漢方薬も保険が適用できますか? また、健康相談もしたいのですが…。

A どちらも可能です。漢方相談(予約制)で対応しています。

Q そのほかの病気で漢方薬に期待できる分野はありますか?

A アレルギー疾患(鼻炎、皮膚炎)や夜尿症、成人病(糖尿病、高血圧症、心疾患)、排せつ障害(便秘症、前立腺肥大症)、更年期障害、認知症など多彩にあります。

Q 最後に、西洋医学と東洋医学(漢方医学)の融合について教えてください。

A 西洋医学では、MRIやCTスキャンによる悪性疾患(がん)の早期発見や手術治療を中心に、その効果にはある一面、目を見張る素晴らしさがあります。しかし、先天性疾患や体質・年齢・老化による分野では、東洋医学(漢方医学)がその効果を発揮します。西洋医学を補完する東洋医学(漢方医学)ではなく、融合された第3の医学として新たに“東西医学”が登場したのです。

東洋医学 (漢方医学) 西洋医学

融合 ↓

東西医学
(第3の医学)

Message
もっとも命の危険が潜む夜間生活空間に“愛”と“光”を放ち、そして、安全・安心で幸せな世の中としましょう。

「自分が称賛されるためではなく、この仕事に名誉をもたらすために心して事を成し遂げていこう」
※ナイチンゲールの言葉

〈ボランティア活動〉
人の命は、呼吸停止、心停止後5分間で死に至ります。(5分間ルール)現場の人達を救命救急士として教育する「安全・安心・健康塾」出張講義に、期待が集まる。

外来診療(かかりつけ医) **総合内科・漢方診療科** **要予約**

お医者さんが 24時間・365日体制で対応 来てくれる (松山市全域)

私たちは、在宅医療・看護・介護の質の高い訪問診療を目指しています。

医師数 22名 (常勤8名、非常勤14名)
内科・外科専門医 18名 (国立がんセンター勤務歴有3名)
精神科専門医 2名
麻酔科専門医 2名 (ペインクリニック科)
末期がん治療(緩和ケア)相談室開設!

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所
(医)東西会 千舟町クリニック
松山市千舟町6-4-9 ☎089-933-3788 <http://www.touzaikai.jp/>